

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 3 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> エコマイザー更新により熱交換効率を見直し、ボイラー水を予熱するための蒸気使用量を削減した。それに伴い、蒸気削減分を発電蒸気へ転用することにより、受電電力量を削減した。 所内各工場の工水回収ポンプをインバータ化して、電力使用量を削減した。 所内各工場の空調機の更新および照明のLED化を行い、電力使用量を削減した。 					
温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度 (令和 3 年度)				二酸化炭素換算 (t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等					t-CO ₂
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用					t-CO ₂
		グリーン電力証書の購入					t-CO ₂
		グリーン熱証書の購入					t-CO ₂
		オフセット・クレジットの購入					t-CO ₂
		国内クレジットの購入					t-CO ₂
		J-クレジットの購入					t-CO ₂
	合 計		①				t-CO ₂
	温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (令和 1 年度)	目標年度 (令和 4 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 3 年度)	対基準 年度比 (%)
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算(t))② 288,013 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 281,824 t-CO ₂	97.9	(二酸化炭素換算(t))③ 249,899 t-CO ₂	86.8	
<input type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算(t))② 288,013 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 281,824 t-CO ₂	97.9	(二酸化炭素換算(t))③-① 249,899 t-CO ₂	86.8	
<input type="checkbox"/> 原単位排出 量 A/B							
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B							
排出量等の 増減理由	令和3年度は操業が順調に推移し、各種燃料（特に重油・一般炭）および電力ともに適正使用量であったため、CO2排出量を目標年度の排出量以下に抑えることができた。						
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 森林保全活動として、社有地において1.0haの植栽を実施した。 						

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。